



## 概要

---

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco UCS C220 M6 サーバーの前面パネル \(5 ページ\)](#)
- [Cisco UCS C220 M6 サーバーの背面パネル \(6 ページ\)](#)

## 概要

Cisco Secure Workload M6 クラスタは、次のいずれかの方法で展開できます。

- 5,000 台超のサーバーを使用するデータセンター向けの大型フォームファクタ 39 ラックユニット (RU) プラットフォーム (C1-Workload シングルラック)



---

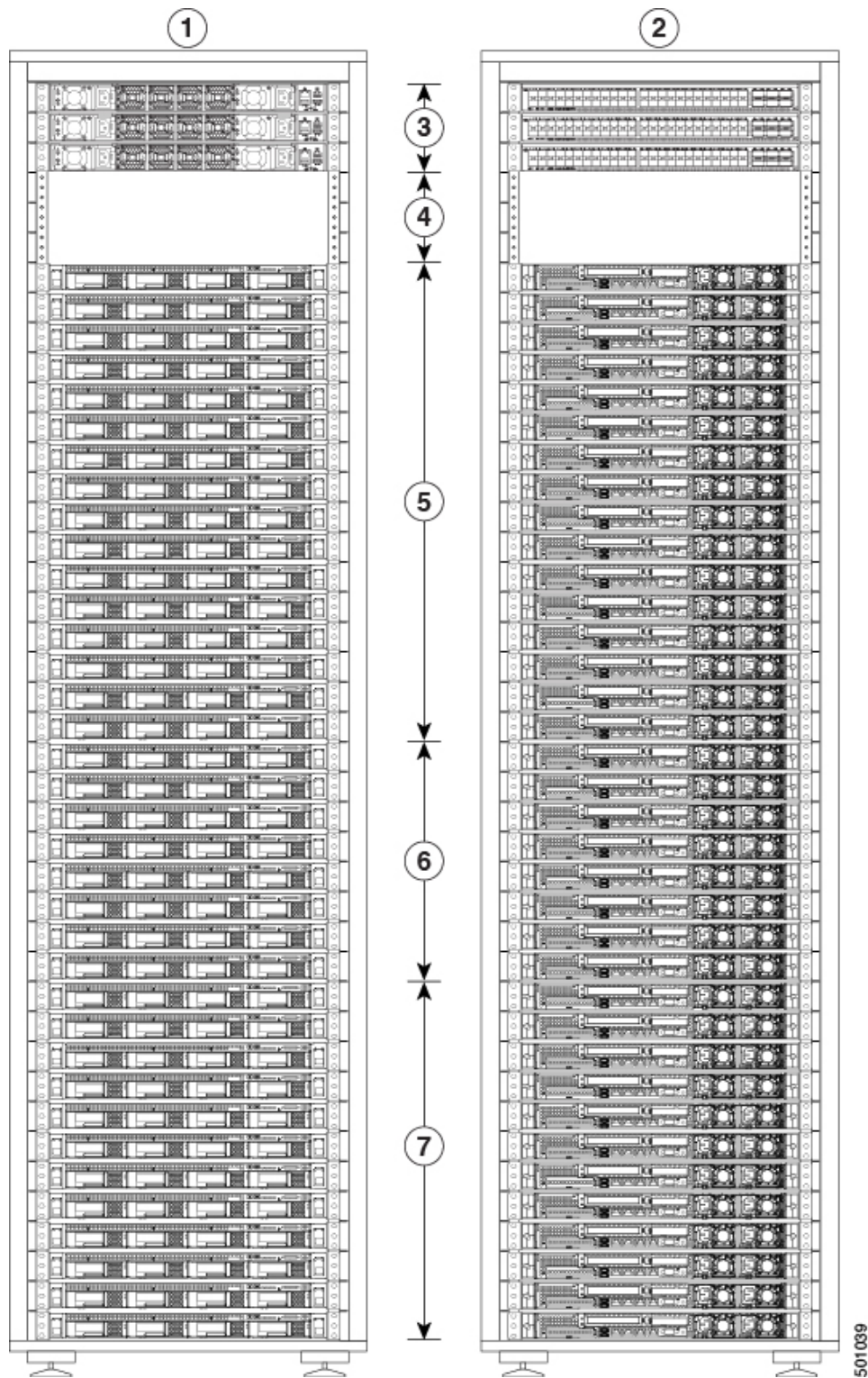
(注) 大規模フォームファクタプラットフォームは、要件に応じて 1 ラックまたは 2 ラックのいずれかで展開できます。例については、次の C1-Workload シングルラックおよびデュアルラックの図を参照してください。

---

- 5,000 台未満のサーバーを使用するデータセンター向けの小型フォームファクタ 8 RU プラットフォーム (C1-Workload-M)。例については、C1-Workload-M の図を参照してください。

次の図に、C1-Workload シングルラックの前面と背面を示します。

図 1: C1-Workload シングルラックの前面と背面

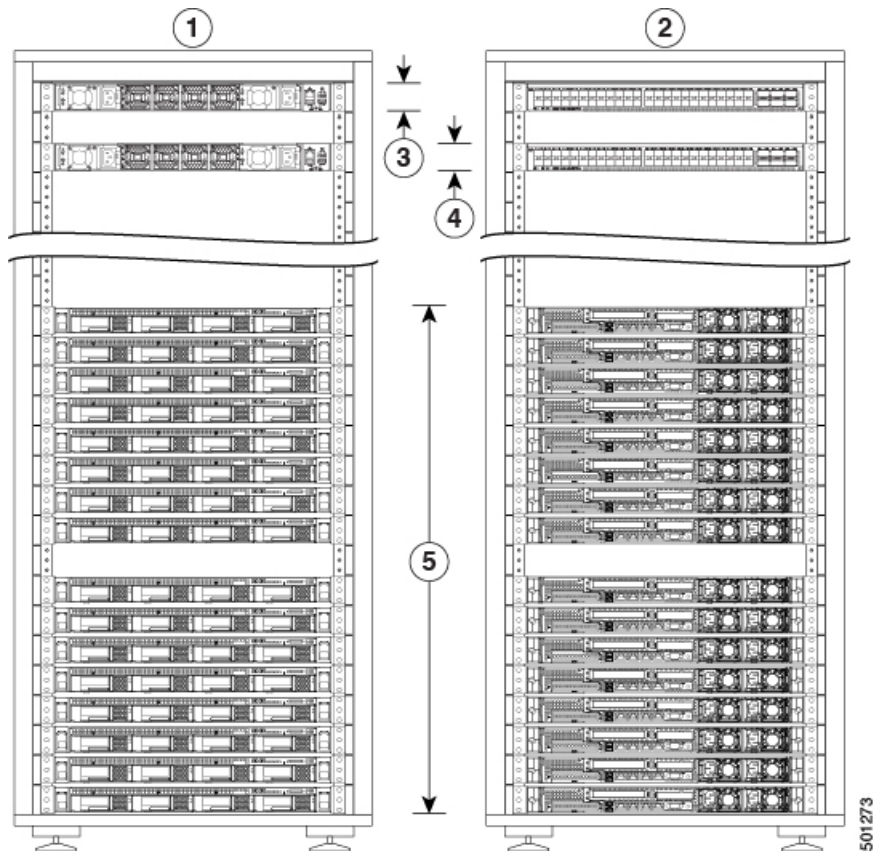


1 前面 (コールドアイルビュー)	2 背面 (ホットアイルビュー)
-------------------	------------------

3	1つのスパイン (RU 42) と2つのリーフスイッチ: リーフ2 (RU 40) とリーフ1 (RU 41)	4	ラックユニット (Ru 37 ~ 39) を開く
5	16台のコンピューティングサーバー (RU 21 ~ 36)	6	8台のサービングサーバー (RU 13 ~ 20)
7	12台のベースサーバー (RU 1 ~ 12)		—

次の図に、C1-Workload デュアルラックのラック1の前面と背面を示します。

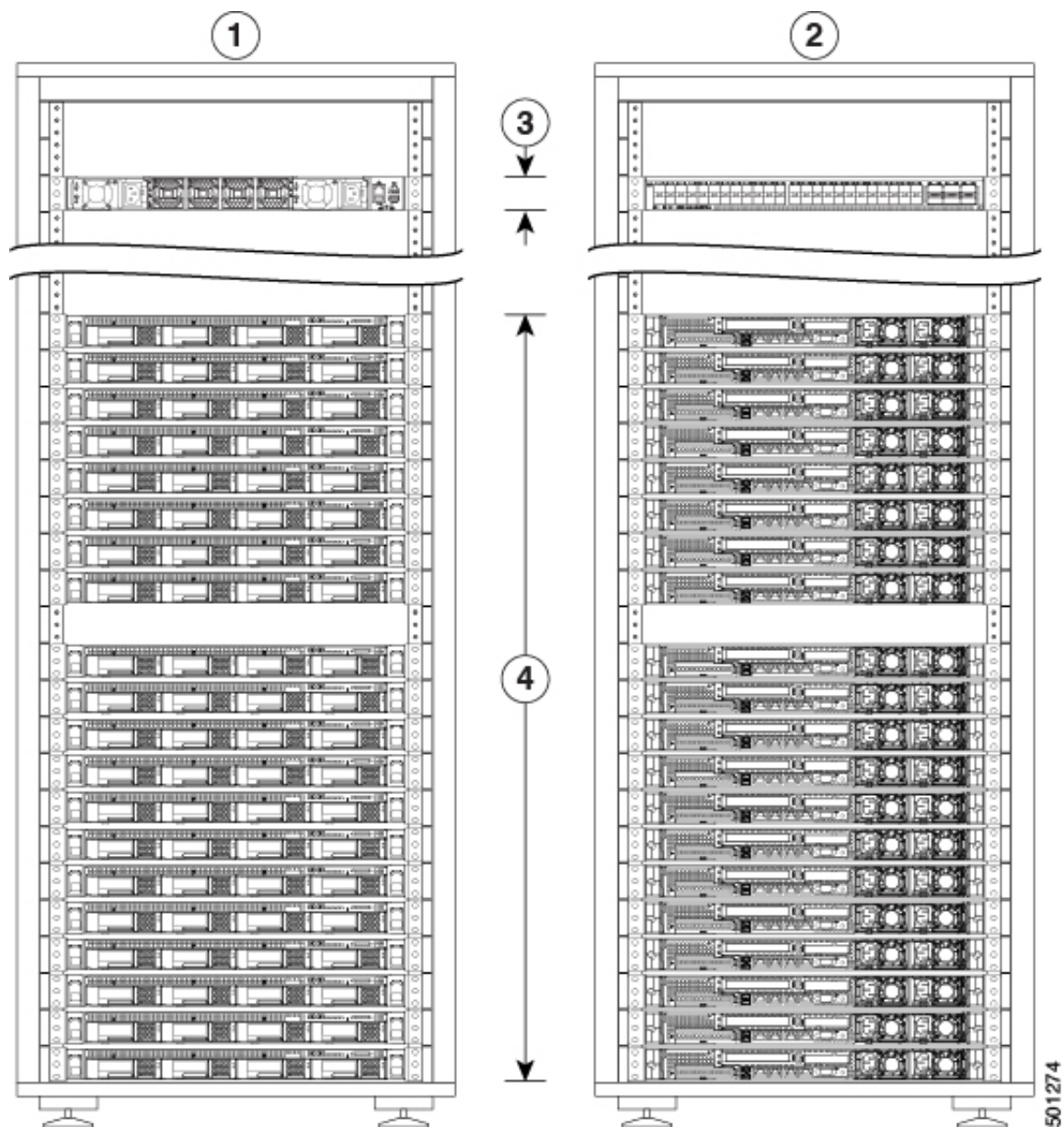
図 2: C1-Workload デュアルラックのラック1の前面と背面



1	前面 (コールドアイルビュー)	2	背面 (ホットアイルビュー)
3	1個のスパインスイッチ (RU 42)	4	1個のリーフスイッチ (RU 40)
5	16台のコンピューティングサーバー (RU 1 ~ 4、6 ~ 9)	6	—

次の図に、C1-Workload デュアルラックのラック2の前面と背面を示します。

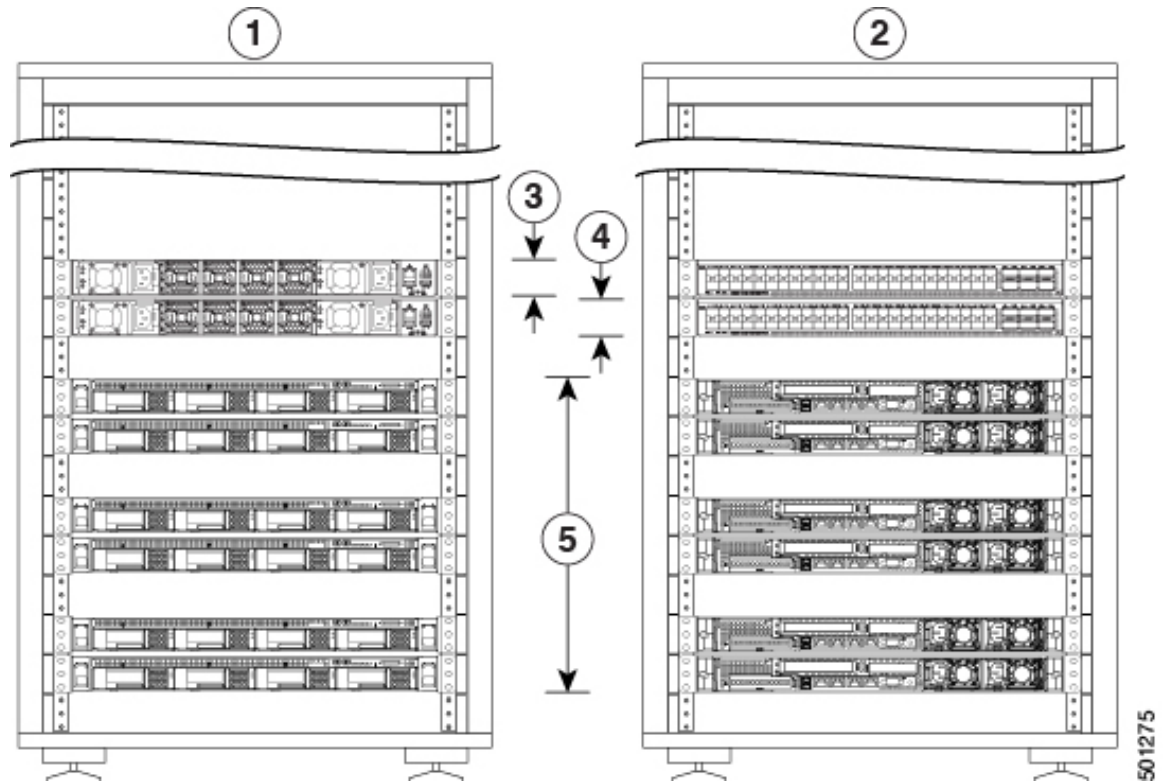
図 3: C1-Workload デュアルラックのラック 2 の前面と背面



1	前面 (コールドアイルビュー)	2	背面 (ホットアイルビュー)
3	2 個のリーフ スイッチ (RU 40)	4	8 台のサービングサーバー (RU 14 ~ 21) と 12 台のベースサーバー (RU 1 ~ 12)

次の図に、C1-Workload-M の前面と背面を示します。

図 4: C1-Workload-M の前面と背面



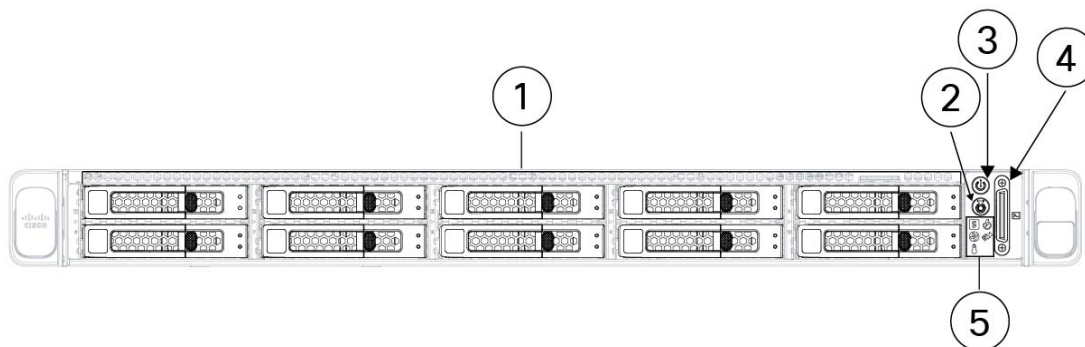
1	前面 (コールドアイルビュー)	2	背面 (ホットアイルビュー)
3	リーフ 1 スイッチ (RU 12)	4	リーフ 2 スイッチ (RU 11)
5	6 台のユニバーサルサーバー (RU 2、3、5、6、8、および9)		—

## Cisco UCS C220 M6 サーバーの前面パネル

次の図に、小型フォームファクタ (SFF) ドライブを使用する UCS C220 M6 サーバーの前面パネルを示します。

詳細については、『[Cisco UCS C220 M6 Server Installation and Service Guide](#)』を参照してください。

図 5: Cisco UCS C220 M6 サーバーの前面パネル



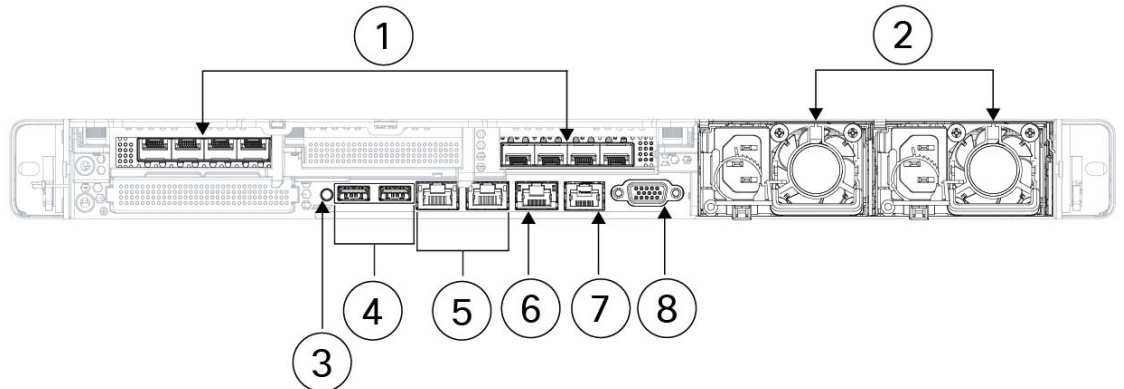
<p><b>1</b> ドライブベイ 1 ~ 10 (番号は左から右、上から下の順)</p> <p>SAS/SATA HDD と SSD をサポートします。オプションとして、ドライブベイ 1 ~ 4 には最大 4 台の NVMe ドライブを搭載できます。最大で 4 台であること以外に、台数に制限はありません。ドライブベイ 5 ~ 10 は、SAS/SATA HDD または SSD のみをサポートします。</p>	<p><b>2</b> ユニット識別ボタン/LED</p>
<p><b>3</b> 電源ボタン/電源ステータス LED</p>	<p><b>4</b> KVM コネクタ</p> <p>DB-15 VGA コネクタ X 1、DB-9 シリアルコネクタ X 1、USB 2.0 コネクタ X 2 を装備した KVM ケーブルで使します。</p>
<p><b>5</b> システム LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファン ステータス LED</li> <li>• システム ステータス LED</li> <li>• 電源ユニットのステータス LED</li> <li>• ネットワーク リンク アクティビティ LED</li> <li>• 温度ステータス LED</li> </ul>	<p>—</p>

## Cisco UCS C220 M6 サーバーの背面パネル

次の図は、UCS C220 M6 サーバーの背面パネルを示しています。

詳細については、『[Cisco UCS C220 M6 Server Installation and Service Guide](#)』を参照してください。

図 6 : Cisco UCS C220 M6 サーバーの背面パネル



1	<p>2つのPCIeスロット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライザー1 (CPU1で制御) <ul style="list-style-type: none"> <li>1つのPCIeスロット (スロット1)をサポート</li> <li>スロット1はハーフハイト、長さ3/4、x16</li> </ul> </li> <li>ライザー3 (CPU2で制御) <ul style="list-style-type: none"> <li>1つのPCIeスロット (スロット3)をサポート</li> <li>スロット3はハーフハイト、長さ3/4、x16</li> </ul> </li> </ul>	2	<p>2つの電源装置 (PSU)。1+1電源モードで構成されている場合に冗長性が確保されます。</p>
3	<p>システム識別ボタン/LED</p>	4	<p>USB 3.0ポート X 2</p>
5	<p>デュアル1 Gb/10 Gbイーサネットポート (LAN1とLAN2)</p> <p>デュアルLANポートは、リンクパートナーの機能に応じて1 Gbpsおよび10 Gbpsをサポートします。</p>	6	<p>1 Gbイーサネット専用管理ポート</p>
7	<p>COMポート (RJ-45コネクタ)</p>	8	<p>VGAビデオポート (DB-15コネクタ)</p>





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。